

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 寺井 博

電話 052(661)1611 内線 2510

平成26年8月28日



水路記念日特別企画

「海図で知る名古屋港の変遷」パネル展を開催します

9月12日は、1871年(明治4年)の9月12日に、兵部省(ひょうぶしょう)海軍水路部が誕生し、組織的に我が国独自で海図の作製を開始したことを記念して制定された「水路記念日」です。

第四管区海上保安本部では、この日を記念した特別企画として、海上保安庁が刊行している海図を広くご理解頂くため、「海図で知る名古屋港の変遷」と題して、大正4年に作製された名古屋港の海図をはじめとする古海図や我が国の海図作製の歴史を紹介する貴重な資料の展示を行います。

開催日時： 平成26年9月20日(土)から10月15日(水)まで

開催場所： 名古屋市鶴舞中央図書館 1階展示架(名古屋市昭和区鶴舞1-1-155)

開館時間 火曜～金曜(祝日を除く) 午前9時30分～午後8時

土曜(祝日を除く) 午前9時30分～午後7時

日曜・祝日 午前9時30分～午後5時

休館日 9月22日(月)・29日(月)、10月6日(月)・14日(火)

主な展示物： 名古屋港の旧版海図(年代別に数点)、現在の海図

海図第1号「陸中國釜石港之圖」(写)及び印刷原板(銅版)

海図作製の歴史を紹介するパネル

その他： 入場無料、申込み不要

主催： 第四管区海上保安本部

共催： 名古屋市鶴舞中央図書館

水路記念日について

9月12日は、海上保安庁海洋情報部(旧水路部)創立の日です。

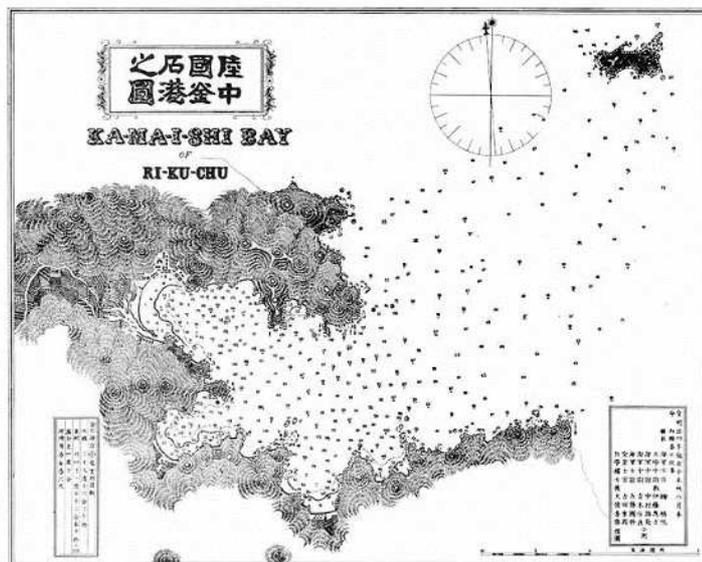
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

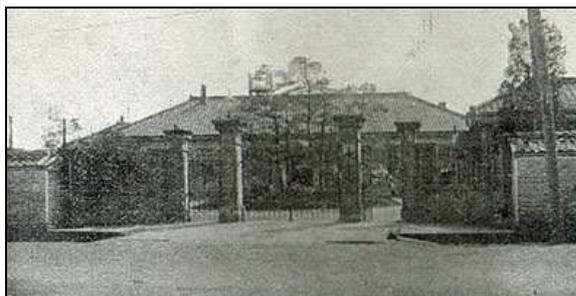
明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳檜悦(やなぎならよし)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。(左図)

伊勢湾に関するものとしては、「伊勢之國礫(さざら)港之図」(1865年(慶應元年)刊行、明治5年再版)があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳檜悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。



昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。



設立当時の水路局



現在の海上保安庁海洋情報部

水路局から海洋情報部への変遷

水路局は、兵部省に設置されて以来、所属省庁が移り変わって現在に至っています。移り変わりの中で、水路部の観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されました。

明治	4年(1871年)	9月12日	(旧暦 7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年(1872年)	4月 5日	(旧暦 2月28日)	海軍省水路局
"	5年(1872年)	11月13日	(旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年(1876年)	9月 1日		海軍省水路局
"	19年(1886年)	1月29日		海軍水路部(海軍省外局となる)
"	21年(1888年)	6月27日		水路部(海軍の冠称廃止)
昭和	20年(1945年)	11月29日		水路部(運輸省外局となる)
"	23年(1948年)	5月 1日		海上保安庁水路局(海上保安庁設置 ・内部機関となる)
"	24年(1949年)	6月 1日		海上保安庁水路部
平成	14年(2002年)	4月 1日		海上保安庁海洋情報部 (現在に至る)